

2015年5月15日

第3号

子どもに夢を！たくましく豊かな創造性を！

# すくらんぶる

NPO法人 長崎県子ども劇場連絡会 NEWS LETTER

## 最新情報

5.29 記者会見(祭典)

5.30 31 パントマイム  
ワークショップ

5.30 祭典事前交流会  
スタート

6.28 子どもと文化芸術を  
つなぐ豊かな  
地域づくり講座

7.10~7.28

第20回長崎県  
子ども舞台芸術祭典



私たちは本当のことを  
知る・学ぶ、話し合う、  
考える、そこで終わらず  
行動する」ことが大事

## ■ ふくしまは、今 ~安心して子育てできる街に~

NPO法人遊びの家共同保育園園長 佐久間容子さんのお話

1月31日、諫早市西諫早公民館に於いて、18歳まで福島で育ち、現在は介護のため度々福島を訪れているらっしゃる佐久間容子さんをお招きしてお話を聞きました。

原発事故一か月後の故郷の様子の話のあとに、原発事故の完全補償させる会の製作したDVD『あやまれつぐなえ なくせ 原発、放射能汚染』を視聴しました。事故の前日に生まれた赤ちゃんを抱っこして避難した母親。子どもたちの散歩道を事前に放射線量を測っている保育園園長。仲間と始めたばかりのアスパラガスは取引ができず、いわき市での農業を諦めた若者。原発

被害者には権利がなく加害者側が保障を査定することに疑問や低い賠償が不完全な安全での再稼働を懸念する人、自宅の新築後の被災、強制避難の後に奥様の自殺、経営していた養鶏場の倒産そしてローンが重くのしかかる。被害者の心によりそうことがない。加害者であることを認めさせたいと強く言われていたのが印象的でした。国と東電を相手に、原告になった人々の思いに胸が苦しくなりました。

有機農業や酪農家など道のりが長かったところほど絶望感が大きいという話や、全村避難の飯館村の村づくりの話、そして佐久間さんの被爆地長崎での「少年少女

平和のつどい」の活動の様子や福島で出会ったルワンダに学校をつくる活動をされているマリー・ルワースの話。「自分の生き方を選択できない」「自分のことを自分たちで決める権利がない」という状況をつくらないためにも、「私たちは本当のことを知る・学ぶ、話し合う、考える、そこで終わらず行動する」ことが大事だと話されました。

佐久間さんの、「できることをする、手をつなぐ、私たちが知らない人が私たちのことを考えてくれている」というメッセージを心に深く刻み込みました。

## ■ 作品を語ろう

4月12日(日)たらみ図書館研修室にて、劇団仲間『空の村号』の作品について語る会を催しました。

当日は、この活動のあとに第18回子ども文化フェスティバルの第1回実行委員会があることもあり、たくさんの青年の参加がありました。ながさき子ども劇場では、元々「空の村号」がリーディングの作品だったこともあり、公演に先立ちリーディングの活動をしたことで、より登場人物の気持ちに近づけた

などの感想がありました。

この作品は、福島原発事故後の酪農家一家の苦しみや口惜しさ、葛藤などを、子どもを主人公として、描かれています。実際に起きた災害、事故からまだ4年しかたっていないことで、どうしても、現実のニュースの映像や、事前にお聞きした佐久間さんのお話などが、思い出されてしまい胸が苦しくなってしまう人も多かったようでした。しかし、作品自体の

社会的なメッセージが強い分、考えるきっかけをつくることができた作品でした。

そこに住んでいる子どもから大人まですべての人たちから様々な権利を奪い取ってしまう大事故・・・社会に目を向け佐久間さんがおっしゃっていたように、『知る、学ぶ、考える、行動する大事さ』も含めた感想交流会になりました。

# 第17回長崎県 子どもと文化フェスティバル

長崎県内の子ども劇場では、子どもの舞台芸術作品を『例会』として定期的に鑑賞しています。見るだけでなく自分たちも表現しよう！と始まったのが子どもと文化フェスティバルです。



県フェスを成功させたいという強い気持ちで力を合わせて頑張りました。

## ■ 青年を中心に実行委員会

今年の県フェスは各子ども劇場の青年を中心に運営しました。やらなければいけないことの多さに不安を抱えずにはいられませんでした。青年グループは社会人や大学生で構成されています。そのためみんなで集まる時間をつくるのが難しく、準備もスムーズに進みませんでした。しかし、県フェスを成功させたいという強い気持ちで力を合わせて頑張りました。

た。本番の日、小さな子どもや友人がきらきら輝く笑顔で発表する姿を見たときはとても嬉しかったです。自分もステージに立ち思い切り楽しむことができました。子ども劇場で企画の運営側に携わるようになって数年が経ちましたが、実行委員長を務めたのは今回が初めてでした。県フェスは諫早や佐世保など長崎県下の子ども劇場との協力が必要で実行委員長の仕

事は想像以上に大変でした。ですが、周りの人々に支えられながら何とか役目を終えることができました。上手いかずに悔しい思いもしたし、反省点もたくさんありました。改善点として前向きに捉え今後の県フェスを更に良いイベントにしていきたいです。

実行委員長  
ながさき子ども劇場  
後田茉莉

## ■ ながさき子ども劇場



子どもたちの表現の場であり、企画実行する楽しさを味わう場である県フェスを今後も続けていきたい。

今年の県フェスには乳幼児、低学年、高学年の3グループで出演しました。乳幼児は「クッキーくんち」。乳幼児会員制がスタートして、親同士同士のつながりができてきた中での練習で、そのつながりがグッと強まりました。低学年は群読です。劇団ののはなの納富さんに指導をお願いし「かえるのびよん」「スイミー」を練習しました。声をそろえるのが大変でしたが、発表している時の嬉

しそうな顔！子どもたちが舞台上に立って表現する事の楽しさを実感できたのがよかったと思います。高学年は中学生以上の参加で、飛ぶ劇場の泊さんに来ていただいて自分たちで戯曲を書き、芝居にするまでを指導していただきました。戯曲は中学生以上でしたが、劇は小学5年生以上を対象として、3つのお話を演じ、演じる楽しさを体験しました。最近結成されたダンスグループ Join-

crew もいきいきとしたステージでした。今回の県フェスでは、青年たちが実行委員会の中心となり、実行委員長も青年が務め、青年中心に進められた事が大きな成果でした。子どもたちの表現の場であり、企画実行する楽しさを味わう場である県フェスを今後も続けていきたいと思います。

運営委員長  
鈴木 郁子

## ■ 壱岐子ども劇場



いつの日か、竹楽器と和太鼓のコラボで参加できるいいなと思っています。

例年「竹楽器演奏」で参加している県フェスですが、今回は、竹楽器製作演奏ワークショップに、7年連続して参加しているメンバー、高校生・中学生・大人の3人で参加しました。

当日は、青年の皆さんに

も、にぎやかに盛り上げてもらい、楽しく終わることができました。長崎各地の青年と交流できて良かったです。

壱岐では中高生になり、劇場を離れるのが当たり前のようになっていきます

が、県フェス参加や青年との交流等で、もっと沢山の子どもたちが育ってくれるといいなと思います。

山村真美

## ■ 諫早子ども劇場

諫早子ども劇場からは、幼児・小学生12名・大人7名が「ようかい体操」、青年7名の「ワンナイト・カーニバル」のバンド演奏で参加しました。

発表当日のみではない、そこに至るまでの仲間同士のつながりや、みんなで築きあげていく楽しさを共有することを大切にして取り組みました。

「ようかい体操をおどろう！」と決めてから、参加者を呼びかけました。顔合わせや練習で集まることで仲良くなり、アイデアもたくさん出し合い、気持ちを深め合うことができましたと思います。工夫をこらした衣装で、のびのびと踊りを披露し、観ている側が元気をもろうステージでした。

## ■ 佐世保子ども劇場

今回の出演はコーラスで、選曲は子ども達に歌いたい曲を聞き、「ビリーブ」と「ありがとう」に決定しました。当日に向けて歌詞カードを片手にみんなで練習、そして自宅や車の中でもCDを聞きながら練習の日々でした。コーラス初挑戦の子ども達もいましたが、青年や大人の方と共に頑張ってきました。県フェス当日は、みんなで考えた衣装を着て、緊張しつつもリハーサルからしっかりと声を出していました。控え室でも「ここはこうしたら良かね」と気付きや意見を出し合い、練習を繰り返していました。会場では、他劇場の出演を

青年たちは、県フェス実行委員会としての役割を担いながら、限られた時間の中で、歌と踊りの練習を積み重ねました。自分たちが伝えたい気持ちをメッセージとして歌詞にのせたステージは、青年たちの熱さがピンピン伝わるものになりました。さらに盛り上げてくれたのが、福岡から駆けつけギター演奏をしてくれたY君！

仲間との絆を深めることができた県フェス。「なにかやろうよ」から、自分たちで積み重ねて、かたちになっていく喜びを分かち合えるこの取り組みは、これからも大切にしたいと思います。

見てみんなで笑ったり、感動したりと楽しい時間を過ごすことができました。いよいよ佐世保の順番、みんなの歌声がホールいっぱいに響きます。スクリーンに映る1年の活動の様子は、例会や自主活動などで撮影した写真です。みんなの笑顔が盛りだくさん、世界に1つだけの思い出の映像です。みんなで共に頑張ってきたこと、楽しんでできたことが歌声と共に流れ、コーラスと映像のコラボでダイナミックな作品となりました。県フェスに参加したことでみんな刺激を受け、次回の佐世保会場も力を合わせて頑張ろうという気持ちでいっぱいです。



顔合わせや練習で集まることで仲良くなり、アイデアもたくさん出し合い、気持ちを深め合うことができました。



みんなで共に頑張ってきたこと、楽しんでできたことが歌声と共に流れ、コーラスと映像のコラボでダイナミックな作品となりました。

## 第20回長崎県 子ども舞台芸術祭典

今年の祭典は20回ということもあり、離島などの少人口地域での公演や50ステージを目標に取り組んでいます。祭典に親和銀行ふるさと振興基金より15万円の助成を受けました。

県内3か所のパントマイムワークショップ、祭典の意味を考え、社会的意義を確認する場としての講演会など企画も盛りだくさんです！5月29日には記者会見を行い、31日には、長崎市の繁華街をパレードします♪♪♪

子どもゆめ基金助成事業

### 子どもと芸術家との出会い ～パントマイムであそぼう～

★5/30(土) 10:30～12:00

佐世保市中部地区公民館 講座室

★5/30(土) 19:00～20:30

たらみ図書館 研修室

★5/31(日) 10:30～12:00

長崎市民会館 7F 体育室

【参加費】500円(小学生以上)



はさみ子ども劇場は久しぶりの参加でした。

中心になっていた家族に急用が入ったり、当日インフルエンザで欠席があったりで、どうなる事かと心配でしたが、出演できて良かった!!子どもたちも他の劇場に刺激を受けて「来年もまた出るよ」と話していました。

大人も、子どもからいっぱい元気をももらった一日でした。

子どもと舞台芸術との豊かな出会いを  
願って学び合う場です

## 講座のお知らせ

子どもゆめ基金助成事業

### 子どもと文化芸術をつなぐ豊かな地域づくり講座

日時:6月28日(日) 10:30~14:50

会場:大村市民会館 参加費: 500円

基調講演 地域の活動を豊かにする子ども文化地域コーディネーター

講師:中川幾郎(帝塚山大学名誉教授)

午後からは事例紹介(講師:森本真也子)

NPO 法人  
長崎県子ども劇場連絡会

〒850-0057  
長崎市大黒町 4-26  
北村第一ビル 302号室

TEL: 095-825-0533  
FAX: 095-825-6151  
E-MAIL: n.kogeki@alto.ocn.ne.jp

#### 県内子ども劇場

ながさき子ども劇場  
TEL: 095-825-0533

佐世保子ども劇場  
TEL: 0956-22-6747

諫早子ども劇場  
TEL: 0957-23-5689

壱岐子ども劇場  
TEL: 0920-44-5010

はさみ子ども劇場  
TEL: 0956-85-4273

#### Web サイト

URL:

<http://www.nakogeki.sakura.ne.jp/>

発行

NPO 法人長崎県子ども劇場連絡会

#### 第20回長崎県子ども舞台芸術祭典が 共感寄付団体に選ばれました!

NPO ながさきの事業「共感寄付」は、  
NPO・市民活動団体の社会課題の解決  
に共感した人が寄付をすることで応援す  
るという仕組みです。今年は当団体を含  
む3団体が選ばれました。

#### 子どもの権利条約ながさきネット

子どもの権利条約批准20年でとりく  
んだ講演会「子どもの力を信じて～あそぶ  
ってなんだろう」。その賛同団体のつな  
がりで学習会「憲法(ノリノリ)カフェ」を続  
けてきましたが、この度「ネット」を立ち  
上げます。5月22日(金)設立総会です。

#### 団体概要

子どもの豊かな成長と地域の子ど  
も文化芸術振興に寄与することを目  
的に2003年にNPO法人として活動を  
開始しました。

長崎県内にある5つの子ども劇場  
や、子どもに関わる団体や個人の方  
とのつながりを大切にしながら、地  
域の文化活動を支援しています。

「長崎県子ども舞台芸術祭典」、  
「長崎県子どもと文化フェスティ  
バル」、講演会や学習会などの事業を  
行っています。

子どもに夢を!たくましく豊かな創造性を!

私たちは子どもの文化を応援します。

#### ★編集後記★

『子どものための文化活動』  
(太宰久夫)の中の記事「子ど  
もたちにとって、今必要とされ  
ているモノ・コト・バショが学校  
以外の環境です。つまり地域  
社会での人と人の繋がりでし  
ょう。大事なことは、評価の恐  
れのない出会いと発見の場作  
りと提供ではないでしょうか。」

自分自身を安心して表現で  
きる、子どもと文化フェスティ  
バルもそんな場のひとつだ。

表現までもが評価の対象  
になる子どもたちの状況。子  
どもの世界にほっとできる出  
会いと発見の場をたくさんつ  
くりたいものである。(N)

長崎角煮まんじゅう

 岩崎本舗

立石産婦人科医院

諫早市栄町 7-6  
TEL 0957-22-0292



医療法人 藤島内科医院

〒854-0072 諫早市永昌町43-6  
TEL 0957-25-2225  
FAX 0957-25-2220

佐世保の中心、ビジネス&観光に。  
セントラルホテル佐世保



〒857-0872 佐世保市上京町3番2号  
Phone 0956-25-0001

0120-69-0511

一般  
財団法人 長崎ロープウェイ・水族館

 長崎ペンギン水族館  
Nagasaki Penguin Aquarium



白山陶器株式会社

白山陶器

〒859-3702 東彼杵郡波佐見町湯無田郷 1334  
TEL. 0956-85-3251 FAX. 0956-85-6630

ホテル周辺にはコンビニ・飲食店街あり。  
全客室ネット接続無料! 有線LAN・Wi-Fi回線完備

 ホテル  
ウイング・ポート長崎

☎095-833-2800 JR長崎駅より徒歩3分  
<http://www.wingport.com>

ホテル ジャノメ

諫早市永昌東町 1-39 [JR 諫早駅前]

TEL.0957-22-0529  
FAX.0957-22-3181